



「創造的復興」の理念を活かした ウクライナ支援検討会 中間報告会・シンポジウム

日時・場所

2024(令和6)年2月23日(金・祝) 13:00~15:30

ラッセホール 2階「ブランシュローズ」

プログラム

1. 開会挨拶

齋藤 元彦 兵庫県知事



イヴァーノ・
フランキーウシク
州知事
スヴィトラナ・オニシュチュク

2. ビデオメッセージ

スヴィトラナ・オニシュチュク イヴァーノフランキーウシク州知事
ヴィタリー・キム ミコライウ州知事



ミコライウ州知事
ヴィタリー・キム

3. 中間報告

早金 孝 兵庫県国際交流協会理事長
遠藤 英二 兵庫県防災監兼危機管理部長

4. 基調講演

岡部 芳彦 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会座長

～ 特別コンサート 「ウクライナの歌」 ～
非営利型一般社団法人 芸術の森

5. パネルディスカッション

「地域発」・「公民連携」・「ひょうご」ならではのウクライナの復興支援

コーディネーター

岡部 芳彦 「創造的復興」の理念を活かしたウクライナ支援検討会座長

パネリスト

木村 出 JICA関西所長

石原 朋子 UNHCR (国連難民高等弁務官事務所)

前ウクライナ・ウジホロド事務所 法務官

花村カテリーナ 関西看護医療大学助教

齋藤 元彦 兵庫県知事

6. 閉会

パネルディスカッション 登壇者プロフィール

コーディネーター

「創造的復興」の理念を活かした
ウクライナ支援検討会座長

岡部 芳彦



神戸学院大学経済学部教授、ウクライナ研究会会長。博士(歴史学)、博士(経済学)。専門はウクライナ研究、主な著作に『日本ウクライナ交流史1915-1937年』(ウクライナ語、リヴィウ工科大学出版、2021年)、『日本ウクライナ交流史1937年-1953年』(神戸学院大学出版会、2022年)。2019年にウクライナ大統領付属国家行政アカデミー名誉教授、2020年にウクライナ国立農業科学アカデミー外国人会員に選出される。2021年にウクライナ内閣名誉章、2023年にウクライナ最高会議名誉章を受章。

パネリスト

独立行政法人 国際協力機構 関西センター
(JICA関西) 所長

木村 出



兵庫県姫路市出身。東京大学(学士)、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)(博士)。1997年に海外経済協力基金(OECF)に入職。(組織再編で1999年より国際協力銀行(JBIC)、2008年より現在のJICA。)フィリピン、インドネシア、イラク等の国担当、企画部門、研究部門などを経て、アフリカ地域担当課長、人事部課長、理事長室上席秘書(理事長(北岡伸一、田中明彦)担当)などを歴任。2022年7月より現職。2023年4月より、兵庫県立大学の非常勤講師として「国際関係論入門」も担当。

パネリスト

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)
前ウクライナ・ウジホロド事務所
法務官

石原 朋子



上智大学外国語学部フランス語学科卒。パリ政治学院国際安全保障修士課程修了。2015年に外務省JPO制度を通して在セネガルUNHCR西アフリカ地域事務所赴任。以後、シリア、ギリシャ、ケニアで難民・国内避難民の保護支援の戦略立案・展開などに従事。ウクライナでは、緊急援助後の国内避難民の社会経済統合など恒久的解決策の問題に取り組む。

パネリスト

関西看護医療大学助教

花村カテリーナ



ウクライナ、キーウ出身。臨床心理士および公認心理師。2011年に神戸大学大学院を修了後、日本で臨床心理士および公認心理師の資格を取得。現在は関西看護医療大学の助教であるほか、看護学生の心理支援の実践および研究を行っている。2022年以降、外国人女性の会パルヨンとともにウクライナ避難民向け心理カウンセリング事業(全国規模)を立ち上げるほか、神戸を拠点に様々な団体と協力して避難民の心理支援に携わっている。

特別コンサート 出演者プロフィール

非営利型一般社団法人 芸術の森

代表者 玉木花怜 (カレン)

2006年生まれ 兵庫県持続可能地域士

理事 クーハチューク・ラリサ

ウクライナ ジトーミル市 公務員 2022年に神戸市へ避難

協力者 jesse (ジェシイ)

兵庫県認定音楽療法士 プロミュージシャン

